



2024年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月8日

上場会社名 メディアスホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3154 URL <https://www.medius.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池谷 保彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート統括本部長 (氏名) 芥川 浩之 (TEL) 03-6811-2958  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第1四半期の連結業績 (2023年7月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	60,153	2.4	98	△78.2	200	△64.6	93	△70.4
2023年6月期第1四半期	58,763	7.7	448	△51.1	566	△44.9	315	△50.9

(注) 包括利益 2024年6月期第1四半期 △202百万円( -%) 2023年6月期第1四半期 332百万円(△67.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第1四半期	4.25	4.23
2023年6月期第1四半期	14.38	14.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第1四半期	103,589	17,887	17.3
2023年6月期	97,455	18,572	19.1

(参考) 自己資本 2024年6月期第1四半期 17,887百万円 2023年6月期 18,572百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	22.00	22.00
2024年6月期	—	—	—	—	—
2024年6月期(予想)	—	0.00	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想 (2023年7月1日~2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	248,000	3.7	1,000	△46.8	1,600	△34.0	1,000	△33.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年6月期1Q	21,925,104株	2023年6月期	21,925,104株
② 期末自己株式数	2024年6月期1Q	958株	2023年6月期	958株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年6月期1Q	21,924,146株	2023年6月期1Q	21,924,146株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境においては、医療機関に大きな影響を与えてきた新型コロナウイルス感染症の位置付けが感染症法上の5類感染症に移行したことで、感染者数の増加が見られたものの、医療需要は回復してきております。一方、本感染症の感染拡大に端を発し、増加している医療機関における感染対策に係るコストは今後も医療機関の経営を圧迫するものであり、政府による感染症対策に係る支援の縮小も見込まれることから医療経営は厳しさを増していくものと認識しております。また、ウクライナ情勢による資源価格の高騰や為替変動による物価上昇等の影響に起因するコスト増加も懸念され、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、持続可能な医療体制構築に向けて、製品の安定供給並びに顧客の課題解決に取り組むことを方針として事業活動を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、前年同四半期と比較して医療需要が回復したことで手術室関連製品等の販売が好調に推移いたしました。一方、新型コロナウイルスの検査に係る試薬及びPPE(個人用防護具)等の感染対策に関わる製品については需要の落ち着きに伴い販売が減少いたしました。売上総利益においては、ウクライナ情勢や円安の影響を受け、売上原価が増加したものの、増収に伴い拡大しております。

販売費及び一般管理費につきましては、主要子会社における事業規模拡大に伴う人員採用及びベースアップの実施により人件費が増加いたしました。加えて、営業拠点の開設、移転があったこと及び物流関連コストの増加に伴い前年同四半期と比較して増加しております。

また、ノアインターナショナル(株)を2022年10月に完全子会社化したことも業績に寄与しておりますが、販売費及び一般管理費の増加により全体としては増収減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は60,153百万円(前年同四半期比2.4%増)、営業利益は98百万円(同78.2%減)、経常利益は200百万円(同64.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は93百万円(同70.4%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①医療機器販売事業

医療機器販売事業については、新型コロナウイルス感染症対策に係る補助金関連の備品案件の販売が減少したことで備品販売は前年同四半期と比較して減少いたしました。一方、消耗品については、検査試薬、PPE(個人用防護具)等の新型コロナウイルスに係る製品の販売は減少したものの、手術室関連製品の販売が拡大したことで前年同四半期と比較して好調に推移し、売上高及び売上総利益は前年同四半期と比較して増加いたしました。しかし、事業規模拡大に伴うコスト増加より、セグメント利益は減益となりました。

この結果、売上高は58,829百万円(前年同四半期比2.3%増)、売上総利益は6,701百万円(同1.8%増)、セグメント利益(営業利益)は2,045百万円(同6.1%減)となりました。

#### ②介護・福祉事業

介護・福祉事業につきましては、介護機器のレンタル事業が好調に推移したことで、前年同四半期と比較して売上高、売上総利益及びセグメント利益は増加いたしました。

この結果、売上高は1,324百万円(前年同四半期比3.2%増)、売上総利益は556百万円(同9.6%増)、セグメント利益(営業利益)は105百万円(同26.2%増)となりました。

(注)当社グループのセグメントは、次のとおりであります。

医療機器販売事業……(医療機器販売事業)

国内の医療機器メーカー・代理店・商社等より仕入れた医療機器(備品・消耗品)を、国内の病院等医療施設に販売しており、当社グループの基幹となる事業であります。

(医療機器の修理及びメンテナンス事業)

当社グループが病院等医療施設に販売した医療機器の修理及びアフターサービス、病院等医療施設との保守契約に基づく医療機器全般のメンテナンスを行っております。

介護・福祉事業…… 国内外の介護福祉機器メーカー・代理店・商社等より仕入れた介護福祉機器(備品・消耗品)を、国内の病院等医療施設及び介護施設並びに医療機器販売業者、一般個人に販売しております。また、介護福祉機器の一般個人へのレンタルを行っております。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から6,133百万円増加し、103,589百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末から5,724百万円増加し、81,952百万円となりました。これは主に現金及び預金が3,748百万円、受取手形及び売掛金が1,330百万円、商品及び製品が411百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末から409百万円増加し、21,636百万円となりました。これは主に無形固定資産が472百万円増加したことによるものであります。

### ②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末から6,818百万円増加し、85,702百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末から7,003百万円増加し、78,546百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が141百万円減少した一方で、短期借入金が7,129百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末から184百万円減少し、7,155百万円となりました。これは主に株式報酬引当金が78百万円、その他の固定負債が108百万円減少したことによるものであります。

### ③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末から684百万円減少し、17,887百万円となりました。これは主に利益剰余金が389百万円、その他有価証券評価差額金が298百万円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の連結業績予想につきましては、2023年8月14日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,330,262	14,078,646
受取手形及び売掛金	50,267,866	51,598,264
商品及び製品	11,845,054	12,256,312
原材料及び貯蔵品	12,027	10,745
その他	3,877,922	4,110,062
貸倒引当金	△105,033	△101,324
流動資産合計	76,228,099	81,952,706
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,093,753	6,364,146
機械装置及び運搬具（純額）	843,545	809,789
土地	3,291,308	3,375,780
その他（純額）	790,280	629,844
有形固定資産合計	11,018,886	11,179,560
無形固定資産		
のれん	844,307	1,331,663
その他	1,163,383	1,148,510
無形固定資産合計	2,007,690	2,480,174
投資その他の資産		
その他	8,226,461	8,004,788
貸倒引当金	△25,384	△27,681
投資その他の資産合計	8,201,076	7,977,106
固定資産合計	21,227,653	21,636,841
資産合計	97,455,753	103,589,547

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	52,542,782	52,401,061
短期借入金	14,965,395	22,095,134
1年内償還予定の社債	7,000	7,000
未払法人税等	323,712	332,778
賞与引当金	45,448	749,623
役員賞与引当金	143,914	10,232
株式報酬引当金	-	73,515
資産除去債務	9,912	9,912
その他	3,504,597	2,867,018
流動負債合計	71,542,762	78,546,276
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	4,580,404	4,559,709
債務保証損失引当金	100,460	103,262
株式報酬引当金	78,257	-
退職給付に係る負債	1,388,578	1,407,868
資産除去債務	136,159	136,200
その他	1,042,062	933,939
固定負債合計	7,340,921	7,155,980
負債合計	78,883,684	85,702,257
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,344,769	1,344,769
資本剰余金	2,671,008	2,671,008
利益剰余金	12,692,118	12,303,045
自己株式	△450	△450
株主資本合計	16,707,446	16,318,373
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,874,543	1,576,262
退職給付に係る調整累計額	△9,920	△7,345
その他の包括利益累計額合計	1,864,623	1,568,917
純資産合計	18,572,069	17,887,290
負債純資産合計	97,455,753	103,589,547

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
売上高	58,763,454	60,153,873
売上原価	51,674,073	52,896,493
売上総利益	7,089,380	7,257,379
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	4,929	△1,216
株式報酬引当金繰入額	△1,864	△1,337
給料及び手当	2,665,397	2,953,380
従業員賞与	6,422	3,730
賞与引当金繰入額	677,038	705,983
役員賞与引当金繰入額	4,400	△1,692
退職給付費用	135,114	143,753
法定福利費	508,492	566,488
減価償却費	259,952	254,696
賃借料	538,640	559,770
業務委託費	583,136	584,239
その他	1,258,805	1,391,501
販売費及び一般管理費合計	6,640,466	7,159,295
営業利益	448,914	98,084
営業外収益		
受取利息	825	278
受取配当金	36,595	2,316
仕入割引	78,381	77,069
債務保証損失引当金戻入額	2,900	-
その他	35,757	66,769
営業外収益合計	154,460	146,434
営業外費用		
支払利息	21,291	21,454
持分法による投資損失	9,170	13,184
債務保証損失引当金繰入額	-	2,802
その他	6,264	6,503
営業外費用合計	36,726	43,944
経常利益	566,649	200,574
特別利益		
固定資産売却益	2,652	2,628
特別利益合計	2,652	2,628
特別損失		
固定資産売却損	1,840	463
固定資産除却損	833	1,724
減損損失	6,408	5,610
特別損失合計	9,082	7,798
税金等調整前四半期純利益	560,219	195,404
法人税、住民税及び事業税	288,452	317,683
法人税等調整額	△43,580	△215,537
法人税等合計	244,871	102,145
四半期純利益	315,347	93,258
親会社株主に帰属する四半期純利益	315,347	93,258

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	315,347	93,258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,640	△298,281
退職給付に係る調整額	3,906	2,575
その他の包括利益合計	17,546	△295,705
四半期包括利益	332,893	△202,447
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	332,893	△202,447

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	57,480,217	1,283,237	58,763,454	—	58,763,454
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	57,480,217	1,283,237	58,763,454	—	58,763,454
セグメント利益	2,178,594	83,362	2,261,956	△1,813,041	448,914

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,813,041千円には、セグメント間取引消去19,999千円、のれん償却額△45,455千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,787,584千円が含まれております。全社費用は、主に親会社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「医療機器販売事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当第1四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は、6,408千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	58,829,358	1,324,514	60,153,873	—	60,153,873
セグメント間の内部 売上高又は振替高	730	—	730	△730	—
計	58,830,089	1,324,514	60,154,603	△730	60,153,873
セグメント利益	2,045,979	105,182	2,151,162	△2,053,078	98,084

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,053,078千円には、セグメント間取引消去9,612千円、のれん償却額△62,643千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,000,047千円が含まれております。全社費用は、主に親会社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「医療機器販売事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当第1四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は、5,610千円であります。